

令和七年度入学式 式辞

冬の厳しい寒さに耐えた正門の桜が静かに班を咲かせた今日の良き日、令和七年度大阪府立高津高等学校入学式を挙行いたしましたところ、公私ご多忙にも関わりませず、PTA会長の田原裕之様、同窓会副会長の古門真一様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申しあげます。

さて、ただいま高津高校、第80期生、360名の皆さんに入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学本当におめでとう。私たちは、皆さんを心から歓迎します。

保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これから三年間、お子様が成長する中で、いろいろと不安や心配もあるうかと存じますが、お子様にとって学校生活が有意義で充実したものとなりますよう、教職員一同、全力でサポートいたしますので、どうぞご安心ください。

さて、本校は、創立百年を超える、歴史と伝統ある高等学校であるとともに、平成20年度に文部科学省の「SSH（スーパー・サイエンス・ハイ・スクール）」の指定を、また、平成23年度には大阪府から「GLHS（グローバル・リーダーズ・ハイ・スクール）」の指定を受けるなど、「文理」において創意工夫に満ちた時代に対応した教育活動を実践しています。

また、海外研修や体験型進路学習、生徒研究発表会への参加など、授業以外にも皆さんの世界が広がる機会をたくさん準備しています。ぜひ、皆さんの興味関心や進路希望に応じて、主体的に選択し、積極的に取り組んでほしいと思います。

高津高校は、スクールミッションにもあるように、「生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、他者を思いやることにより、全体で虹の架かる学校」をめざしており、皆さんそれぞれの個性を大切にする学校です。「自由と創造」「日新日進」の校風・校是を基に、皆さんの得意を伸ばし、希望の進路を実現できるよう、計画性をもって取り組んでいます。

そして、皆さんには、基礎基本を土台とした深い学びによる「強靭な知性」、世界のあらゆる現象や不思議に驚きと疑問、気づきが生まれる「みずみずしい感性」、そして、人権を尊重し、相手を思いやることのできる「品格ある人間性」を身につけてほしいと願っています。

そのためにも、本日は、皆さんに学校生活を送るうえで心がけてほしいことを三つ伝えたいと思います。

一つは、校風に込められた「自由と創造」を正しく理解することです。正しくとは、校則がない中で、自分を律する強い気持ちと周りを気遣う優しさ、そして、時と場所、場面によって適切な振る舞うことが必要です。皆さんの「人間力」の成長に期待します。

二つめは、「目標を達成するために、努力を惜しまない」ということです。日々の授業は決して受け身ではなく、主体的に取り組み、より深く考える時間にしてほしいと思います。皆さんの「知的好奇心」に期待しています。

三つめは、「目の前で起きるあらゆることに対し、新鮮な気持ちで見つめる」ということです。その気持ちがあれば、新たな疑問が生じることも、人とは違った見方ができることがあるかもしれません。

今述べた三点について、誠実に、一生懸命取り組めば、皆さんは、きっと「人から応援される人」になります。人から応援される人がどれだけ強くなれるかは言うまでもありません。

結びに、本来は別のこと伝えようと思っていたが、本日午前に開催された3年生の学年集会の雰囲気がとても良かったので、それを伝えることにしました。この2年間の積み重ねもありますが、担任団の各先生からの温かい支えの言葉、副担任の先生からの熱い応援、そして、この春卒業した生徒の体験談や進路担当の先生の話、どれをとっても、生徒たちへの深い愛情と進路実現を心から願う強い気持ちがこちらにまで伝わってきて胸が熱くなりました。誠に手前味噌ではありますが、高津高校の先生は「本気」です。ぜひ信頼して、学校中心の生活を送ってください。

あらためて、節目となる「高津80期生」の皆さんを歓迎します。本日の出会いに感謝するとともに、皆さんに、自由な発想と、社会の変化を読み取る豊かな感性をもって、たくましく前進していく姿を楽しみに、そして、一人ひとりの三年後に期待して、式辞といたします。

令和七年四月八日
大阪府立高津高等学校
校長　寺本　圭一